

水稻の主要害虫ウンカ類3種に対する ピメトロジンを含む育苗箱施用剤の防除効果 ウンカ類の常発地域の方、必見！！

ピメトロジンを含む育苗箱施用剤
移植当日処理(50グラム/箱)

ビルダーフェルテラチェス箱粒剤
デジタルバウワー箱粒剤 等

- トビイロウンカ、セジロウンカ、ヒメトビウンカに対して、優れた防除効果を示します!!
- 残効期間は、移植後80日間程度(既存剤より長い)です。栽培期間が長い中生品種もしっかり防除出来ます。

汁を吸ってイネを枯らすウンカ類

トビイロウンカ



セジロウンカ



ウイルス病をうつすウンカ類

ヒメトビウンカ



【イネ縞葉枯病】

坪枯れ(被害初期)

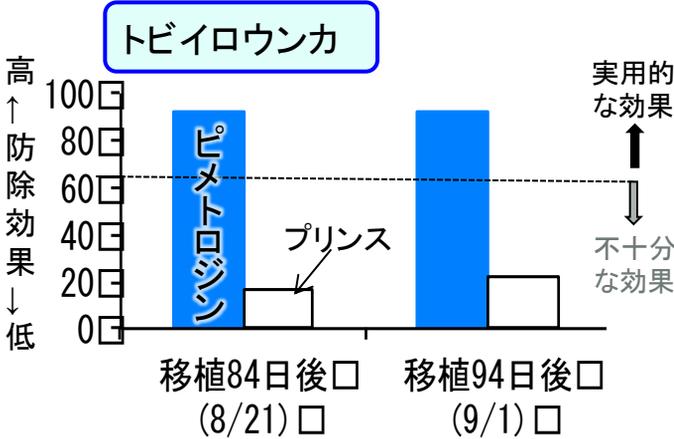
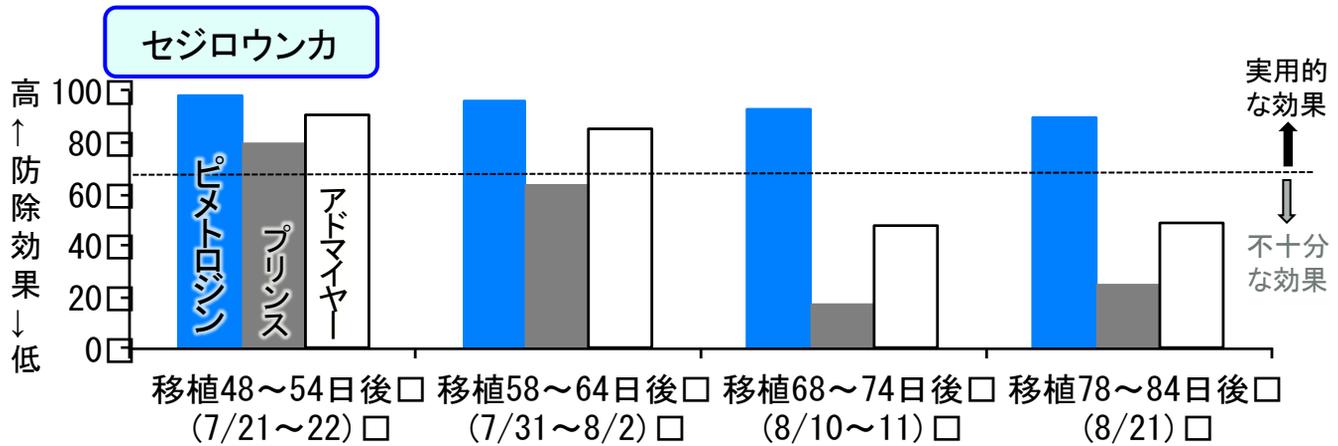
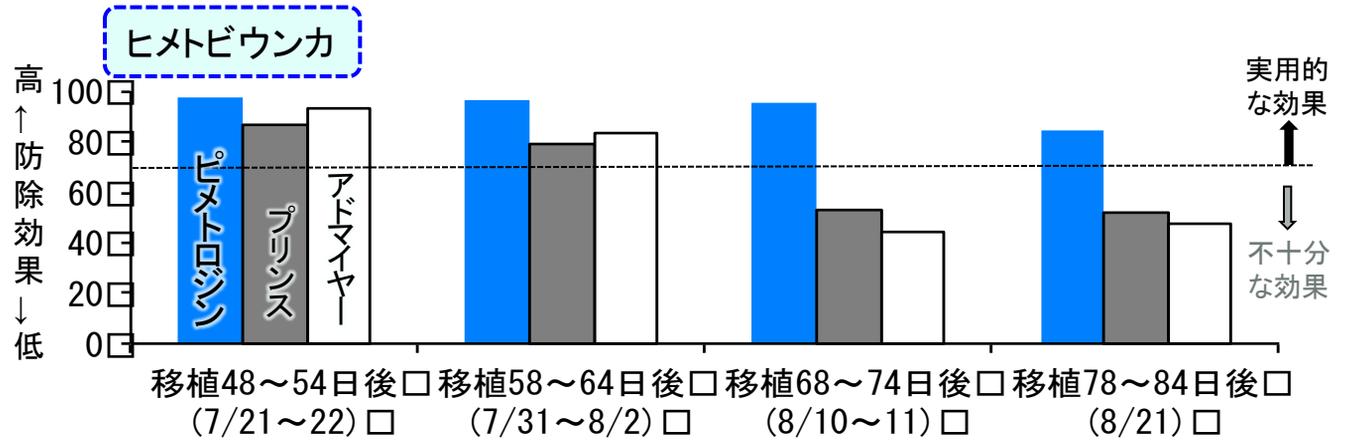


【トビイロウンカの被害】

全面枯れ(被害末期)



各種ウンカ類に対するピメトロジンを含む育苗箱施用剤の防除効果



注1) 耕種概要
 試験場所: 鳥取市橋本(農業試験場ほ場)
 品種: きぬむすめ
 移植日: 5月28日~6月2日
 移植方法: 稚苗機械移植, 18箱/10a
 出穂期: 8月20~22日

注2) 使用した育苗箱施用剤
 ピメトロジン剤
 ビルダーフエルテラチェス粒剤
 アドマイヤー剤
 ルーチンアドスピノ箱粒剤
 プリンス剤
 Dr.オリゼプリンス粒剤10
 ※いずれも50g/箱を移植当日に処理

【本情報を活用する際の留意事項】

- ①2015年3月1日現在、ピメトロジンを含む育苗箱施用剤として、ビルダーフエルテラチェス粒剤、デジタルバウアー箱粒剤等があり、ウンカ類以外の鳥取県主要初中期水稻病害虫(いもち病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ツマグロヨコバイ、チョウ目害虫等)に対して農薬登録されています。なお、移植当日処理より前の薬剤処理については、各農薬の登録内容に従ってください。
- ②ウンカ類の発生が極めて多い場合、ピメトロジンを含む育苗箱施用剤を使用したほ場でも、粉剤、粒剤、水和剤等による追加防除が必要となります。特に、トビロウンカでは注意が必要なので、病害虫防除所等からの予察情報を参考にしてください。
- ③薬量が不足すると防除効果が低下するので、規定量を丁寧に散布してください。